

【授業科目】基礎看護学特論Ⅰ（看護実践学の特質・看護の本質・対象） Advanced Fundamentals of Nursing I

| 担当教員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | オフィスアワー |
|-----------------------------------|--|------|------|---------|------|---------------------------|
| 草野 純子、久留島 実姫 | 1年次前期 | 選択 | 2 | 30 | 講義 | 巻末掲載 |
| 授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法 | 人々の健康・福祉にかかわる看護実践学の特質について、看護の対象、看護の本質、看護の倫理、等に関する文献を通して概観し、総合人間学の視点から具体的事象と関連させながら考察する。関連文献から興味ある文献を選択し、読み合わせをしたり、内容の要約と考察を発表するなど、議論しながら授業を進める。課題に対するフィードバック方法/講義の中において口頭でコメントする。 | | | | | |
| 授業の位置づけ | 本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。 | | | | | |
| 到達目標 (履修者が到達すべき目標) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践学の特質について、関連文献を読み、基本的諸理論、知識を理解する。 2. 理解したことを具体的事象と関連させながら考えることができる。 3. 実践への適用・応用を考えることができる。 4. 教員を含めたグループにおいて自分の考え、意見を的確に表現し、議論に参加できる。 | | | | | |
| 時間外学習に必要な内容・時間 | <p>1～10回 授業計画に書かれてあるマスロー、ベナー看護論、メイヤロフ「ケアの本質」、ナイチンゲール「看護覚え書」の文献は、事前に通読しておく、授業での活発な討議と理解にいかす。(各120分) 授業中に配布する資料は、授業後復習することで、理解を深める。(各60分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p> | | | | | |
| 授業計画 | <p>1回 授業の進め方【話し合い】 興味ある理論・文献の選択 マスローのニード論、ナイチンゲール「看護覚え書」、メイヤロフ「ケアの本質」 ベナー看護論、その他看護の本質や看護実践に関する文献の中から3～4つ選択する 授業の進め方について話し合い</p> <p>2～4回 看護の本質総合人間学の視点と看護の対象1・2・3(講義およびGW) 人間のニードについてマスローの理論を読む マスローのニード論を看護実践と関連させて理解する</p> <p>5～7回 ケアの本質について1・2・3(講義およびGW) ケアとは何か、ケアの本質について「ケアの本質」を読む ケアとは何か、メイヤロフ等の文献をとおして看護実践と関連させて考察する</p> <p>8～11回 ナイチンゲールと看護の本質1・2・3・4(講義およびGW) 「看護覚え書」を読む 各自が選択した章について、他の文献や実践と照合しながら考察する</p> <p>12～15回 上記以外の理論やモデルについて文献を読みながら考察する</p> | | | | | <p>全て 草野、 久留島</p> |
| 評価方法 評価基準 | レポート課題50%、文献講読、考察、意見発表の内容・方法50%で評価する。 | | | | | |
| 教科書 | 授業中に提示する。 | | 参考書等 | 適宜紹介する。 | | |